

Clippings

Date of Issue	2011/2/22
Media	World Business Satellite
Category	TV News
Headline	Educational Business - Newell Rubbermaid Enters Japan with a Portable Electronic Board.

Summary

Pick up new education businesses as it the government will introduce new educational guidance from this April. Newell Rubbermaid will strengthen its business with Mimio in Japan market since it required next generation educational style at schools.



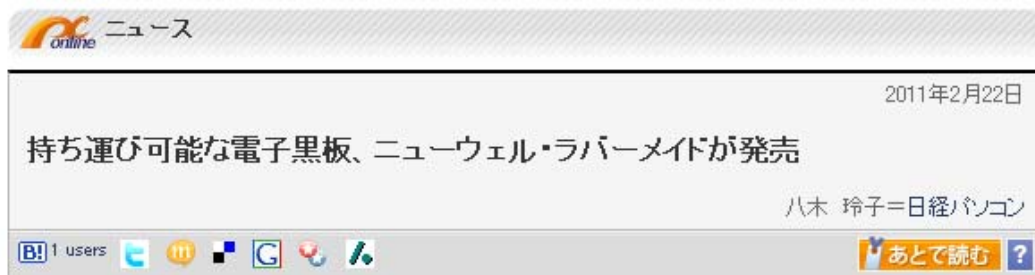
Clippings

Date of Issue	2011/2/22
Media	PC Online
Category	Online (IT)
Headline	Newell Rubbermaid Launch Portable Electronic Board

Summary

Newell Rubber Maid Japan launched new product “Mimio Classroom” in February 22.

“Mimio Classroom” is innovative educational solution combined with “Mimio Teach” and software.



online ニュース

2011年2月22日

持ち運び可能な電子黒板、ニューウェル・ラバーメイドが発売

八木 玲子=日経パソコン

1 Users

あとで読む ?

ニューウェル・ラバーメイド・ジャパンは2011年2月22日、教育向けシステムの新製品「MimioClassroom」を発売した。電子黒板を実現するデバイス「MimioTeach」と、それと連携して動作するハードウェアやソフトウェアを組み合わせた製品である。開発は、米ニューウェル・ラバーメイド。国内の販売代理店を通じて販売する。

MimioTeachは、黒板やホワイトボードなどを電子黒板として利用できるようにするセンサーを内蔵したデバイス(写真1)。磁石を備えており、黒板などの端に貼り付けて利用する。付属のペンを使い、電子黒板上に表示されたソフトを操作する。大きさは定規ほどで重さは300グラム程度と、容易に持ち運べるのも特徴だ。

MimioClassroomにはこれ以外に、6つの構成要素がある(写真2)。(1)置かれたものをそのまま映し出せるUSB接続の書画カメラ(実物投影機)の「MimioView」、(2)専用ペンで書いた文字や絵をデータ化して記録するシステム「MimioCapture」、(3)生徒が手で問題に解答できるようにするスイッチ付きの小型端末「MimioVote」、(4)電子黒板上に表示された画面をワイヤレスで操作できるタブレット型端

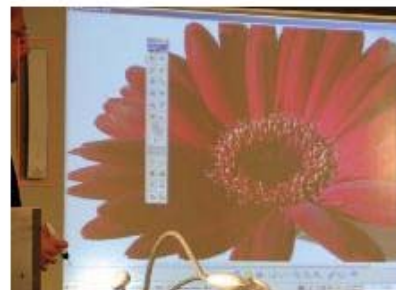


写真1 MimioClassroomの利用風景。MimioTeachをホワイトボード左端に取り付け、付属のペンで画面を操作する。画面には、書画カメラを使って花を映し出している

拡大表示



写真2 MimioClassroomは、大きく7つの製品で構成されている

拡大表示

末「MimioPad」、(5)これらの各種端末を活用した授業をするためのソフトウェア「MimioStudio 7」、(6)MimioClassroom向けの教育コンテンツである。これらがシームレスに連携するため、教師は分かりやすく魅力的な授業を展開できるという。

機器の活用法などをオンラインで学べる、教師向けのサービスも用意する。現在は日本語に未対応だが、近日中に対応予定だという。世界中の教師が交流できるコミュニティサイトも用意されており、他の教師と教材の共有などができる。

価格はオープン。実際の販売価格は販売代理店が決めることになるが、基本的に国内の同等製品と比較しても安価という。「例えばMimioTeachで言えば、同様の製品よりも3〜4割は安い」(ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン)としている。

Mimioの製品は、世界60カ国で利用されている。日本国内でも、既に50以上の教育委員会や大学などに日版の製品が導入されているという。新製品の発売を機に日本向けコンテンツの拡充なども図りつつ、販売拡大にさらに力を入れる構えだ。



写真3 左は、生徒に配布するスイッチ付きの端末MimioVote。収納トレイに格納して充電する。右は、書画カメラのMimioView

[拡大表示](#)



写真4 MimioVoteは、出題する問題に応じてボタンの表示を教師が切り替えられる。例えば、A、B、Cの3つの選択肢から1つを選ばせる場合は、写真のように該当するボタンだけを光らせる。生徒がボタンを押して回答すると、その状況がリアルタイムに集計される

[拡大表示](#)

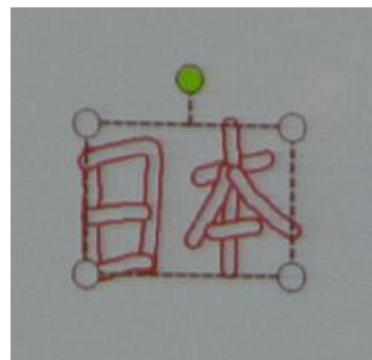


写真5 MimioCaptureを使って書いた文字は、写真のようにデータ化される。これをコピーして貼り付けたり、文字認識機能を使ってフォント文字に置き換えたりも可能

[拡大表示](#)



写真6 「我々の技術を統合して、教師と子どもの学習環境を改善する」と話す、ミニューウェル・ラバーメイドのMimio事業責任者であるローレンス・ハントレー氏

[拡大表示](#)

Clippings

Date of Issue	2011/2/22
Media	Nikkei BP Net
Category	Online (IT)
Headline	Newell Rubbermaid Launch Portable Electronic Board

Summary: Newell Rubbermaid released new educational solution with portable electric blackboard “Mimio” to Japan market.

nikkei **BP net** お知らせ: 青島健太が 斎藤佑樹を語る Biz

特集 コラム キーワード クイズ 書籍 企業・経

総合トップ > パソコン

パソコン

トピックス PR

- 日本橋・汐留・晴海のマンションが<期間限定!家賃1ヶ月無料>~UR賃貸
- 40代、覚えることが多くて…。東大卒のあの人も飲んでいる理由は? サントリー
- あなたの上司にできない仕事術【ADOBE ACROBAT X】
- 座ること、歩くこと、毎日の動きで気になった事はありますか? 大正グルコサミン

PC online

持ち運び可能な電子黒板、ニューウェル・ラバーメイドが発売

2011年02月22日 [RSS](#) [Twitter](#) [はてな](#)

ニューウェル・ラバーメイド・ジャパンは2011年2月22日、教育向けシステムの新製品「MimioClassroom」を発売した。電子黒板を実現するデバイス「MimioTeach」と、それと連携して動作するハードウェアやソフトウェアを組み合わせた製品である。開発は、米ニューウェル・ラバーメイド。国内の販売代理店を通じて販売する。



写真1 MimioClassroomの利用風景。
MimioTeachをホワイトボード左端に取り付け、付属のペンで画面を操作する。画面には、書画カメラを使って花を映し出している

Date of Issue	2011/2/22
Media	IT Pro
Category	Online (IT)
Headline	Newell Rubbermaid Launch Portable Electronic Board

Summary: Newell Rubbermaid released new educational solution with portable electric blackboard “Mimio” to Japan market. “Mimio Classroom” is combined with portable electric blackboard, software and other devices. “Mimio Classroom” will support interactive future classes at schools.

ニュース



持ち運び可能な電子黒板、ニューウェル・ラバーメイドが発売



[記事一覧へ >>](#)

ニューウェル・ラバーメイド・ジャパンは2011年2月22日、教育向けシステムの新製品「MimioClassroom」を発売した。電子黒板を実現するデバイス「MimioTeach」と、それと連携して動作するハードウェアやソフトウェアを組み合わせた製品である。開発は、米ニューウェル・ラバーメイド。国内の販売代理店を通じて販売する。

MimioTeachは、黒板やホワイトボードなどを電子黒板として利用できるようにするセンサーを内蔵したデバイス(写真1)。磁石を備えており、黒板などの端に貼り付けて利用する。付属のペンを使い、電子黒板上に表示されたソフトを操作する。大きさは定規ほどで重さは300グラム程度と、容易に持ち運べるのも特徴だ。

MimioClassroomにはこれ以外に、6つの構成要素がある(写真2)。(1)置かれたものをそのまま映し出せるUSB接続の書画カメラ(実物投影機)の「MimioView」、(2)専用ペンで書いた文字や絵をデータ化して記録するシステム



写真1 MimioClassroomの利用風景。MimioTeachをホワイトボード左端に取り付け、付属のペンで画面を操作する。画面には、書画カメラを使って花を映し出している

[\[画像のクリックで拡大表示\]](#)



写真2 MimioClassroomは、大きく7つの製品で構成されている

[\[画像のクリックで拡大表示\]](#)

「MimioCapture」、(3)生徒が手元で問題に解答できるようにするスイッチ付きの小型端末「MimioVote」、(4)電子黒板上に表示された画面をワイヤレスで操作できるタブレット型端末「MimioPad」、(5)これらの各種端末を活用した授業をするためのソフトウェア「MimioStudio 7」、(6)MimioClassroom向けの教育コンテンツである。これらがシームレスに連携するため、教師は分かりやすく魅力的な授業を展開できるという。

機器の活用法などをオンラインで学べる、教師向けのサービスも用意する。現在は日本語に未対応だが、近日中に対応予定だという。世界中の教師が交流できるコミュニティサイトも用意されており、他の教師と教材の共有などができる。

価格はオープン。実際の販売価格は販売代理店が決めることになるが、基本的に国内の同等製品と比較しても安価という。「例えばMimioTeachで言えば、同様の製品よりも3~4割は安い」(ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン)としている。

Mimioの製品は、世界60カ国で利用されている。日本国内でも、既に50以上の教育委員会や大学などに旧版の製品が導入されているという。新製品の発売を機に日本向けコンテンツの拡充なども図りつつ、販売拡大にさらに力を入れる構えだ。



写真3 左は、生徒に配布するスイッチ付きの端末MimioVote。収納トレイに格納して充電する。右は、書画カメラのMimioView
[画像のクリックで拡大表示]



写真4 MimioVoteは、出題する問題に応じてボタンの表示を教師が切り替えられる。例えば、A、B、Cの3つの選択肢から1つを選ばせる場合は、写真のように該当するボタンだけを光らせる。生徒がボタンを押して回答すると、その状況はリアルタイムに集計される
[画像のクリックで拡大表示]

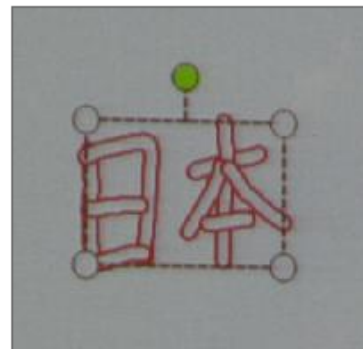


写真5 MimioCaptureを使って書いた文字は、写真のようにデータ化される。これをコピーして貼り付けたり、文字認識機能を使ってフォント文字に置き換えたりも可能
[画像のクリックで拡大表示]



写真6 「我々の技術を統合して、教師と子どもの学習環境を改善する」と話す、米ニューウェル・ラバーメイドのMimio事業責任者であるローレンス・ハントレー氏
[画像のクリックで拡大表示]

Clippings

Date of Issue	2011/2/22
Media	Nikkan Kogyo Shimbun Business Line
Category	Online (Industry)
Headline	Newell Rubbermaid Launch "Mimio Classroom"

Summary

Newell Rubbermaid Japan launch “ Mimio Classroom”

※This article is reprinted Press Release

企業発表

企業のニュースリリースをそのまま掲載しています。
内容に関する質問は直接発表元にお問い合わせください。

ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン、 「MimioClassroom」発売開始



2011年2月22日

ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン株式会社

先生と生徒の相互交流学習を可能にする携帯型電子黒板が登場
次世代の ICT 教育ソリューション「MimioClassroom」発売開始

携帯型電子黒板Mimio を事業展開しているニューウェル・ラバーメイド・ジャパン株式会社(東京都台東区)は、2011年2月22日(火)より、Mimio ブランドの新製品「MimioClassroom」システムを発売いたします。

「MimioClassroom」は、携帯型電子黒板Mimio とそれをサポートするデバイスやソフトウェアを組み合わせ、次世代のICT 教育トータルソリューションとして、教育関係者を総合的に支援するものです。Mimio は、携帯型電子黒板の世界トップシェアを誇る製品で、日本国内でも50以上の市や県の教育委員会、国立大学、有名私立大学やWeb 会議と連携させたシステムの一部として官庁に導入されています。文部科学省や総務省が電子黒板を使用した授業を推進、教科書出版会社が教科書のデジタル化を推進的に行う等、プロジェクターで投影されたデジタル教科書进行操作する方法として、電子黒板への需要が高まっている中、携帯型という利便性の高さで、教育関係者からの支持を得ております。

今回発売する「MimioClassroom」は、携帯型電子黒板Mimio とそれをサポートするデバイスやソフトウェアを組み合わせた、次世代のICT教育トータルソリューションです。「MimioClassroom」の基本となる「MimioTeach.」は、ホワイトボードに取り付けるだけでインタラクティブな電子黒板にすることが可能で、小型で持ち運びもできるため、ホワイトボードさえあれば、場所を選ぶことなく使用できます。「MimioVote.」では、生徒が手元のスイッチで解答した内容をデータで集約し、評価、分析することで、先生が生徒の理解度をその場で確認する相互交流学習が可能となります。そして、最も特長的なシステムである「MimioCapture.」は、専用のペンを用いることでホワイトボードに記載した内容を、すぐさまパソコンに表示することができるため、生徒は先生の説明を聞きながらメモを取る必要がなくなります。

これらに加え、「MimioClassroom」は、文書用カメラ「MimioView.」や音声・画像を使用した魅力的な授業を可能にするソフトウェア「MimioStudio(TM)」など、教育現場をよりインタラクティブに、また先生・生徒間の相互交流を生み出す画期的なシステムを備えております。※各システムの詳細は事項をご参照ください。当社は、本製品を通じて、教育関係者を支援するとともに、今後も、教育現場へ革新的なICT教育ツールを提供してまいります。

■「MimioClassroom」

価格：オープン価格

■「MimioClassroom」製品特長

MimioTeach(TM)

「MimioClassroom」の基本的なシステムで、どのような黒板やホワイトボードも、定規程度の大きさのワイヤレス装置を設置することでインタラクティブな電子黒板にすることが可能です。

MimioVote(TM) (学力検査システム)

先生が生徒の理解度を確認するシステムで、生徒が手元にあるスイッチで解答することにより、その場で先生の評価と生徒へのフィードバックを可能にします。これにより、評価や受験、採点、分析が簡単かつ効率的に行えます。

MimioView(TM) (文書用カメラ)

コンパクトな書画カメラで、授業やテストの際に画像を映像として送ることが可能です。編集・保存機能など、シンプルながらも使いやすい機能を備えています。

MimioCapture(TM) (インク・レコーディング・システム)

専用ペンを使うことで、ホワイトボードに記載したメモや図をその場でパソコンやMimioPad. Iに記録できます。生徒は常にホワイトボードを見ながら自動メモを取ることが可能となり、授業内容に集中しやすい環境を創出します。

MimioPad(TM) (ワイヤレスタブレット)

スリムで軽量のワイヤレスタブレットで、最大9メートル離れた箇所からも操作可能です。操作に特別なスキルは必要なく、誰でも簡単に使用することができます。

MimioStudio(TM)7(ソフトウェア)

教育関係者が、画像やマルチメディアファイルなどを用いた魅力溢れる授業内容を考え、形にすることを可能にするソフトウェアです。Flash ファイルや音声・映像ファイルなどを備えており、また各種ソフトウェアアプリケーションとの互換性もあります。

■「Mimio」について (URL: <http://mimio.dymo.com>)

「Mimio」は米国ニューウェル・ラバーメイド社の製品です。電子黒板の中でも「Mimio」は携帯型の電子黒板として世界トップシェアを誇る製品です。世界的な電子黒板導入の取り組みとしては、2004年頃から積極的に行われており、特に英国では、国内の教室の75%に電子黒板が導入されており、電子黒板を活用した授業が日常的に行われております。日本国内でも、文部科学省や総務省が電子黒板を使用した授業を推進、教科書出版会社が教科書のデジタル化を推進的に行う等、プロジェクターで投影されたデジタル教科書を操作する方法として、電子黒板への需要が高まってきました。このような状況の中、学校内で持ち運びが可能で、低予算で導入可能、そしてワイヤレスで簡単に設置が出来る「Mimio」が日本の教育現場の先生方から支持を得て、これまでに50以上の市や県の教育委員会、国立大学、有名私立大学やWeb会議と連携させたシステムの一部として官庁にご導入頂きました。

■「Mimio」を使用した効果について

「Mimio」を授業で使用すると、デジタル教科書を効果的に操作するだけでなく、教育効果として、ある指導内容について「Mimio」を使った場合、成績が向上した例や、児童の成績を上位、中位、下位に分けた場合、「Mimio」を使った場合に中位と下位の児童の成績向上が顕著であることが示されています。児童が「Mimio」により学習している箇所がわかることや、黒板に注意が向くことなどが、その理由と考えられています。Mimioはマサチューセッツ工科大学で研究した成果をもとに、事業化し、当社で研究・開発を行っております。2011年2月に、ニューウェル・ラバーメイドのMimio事業は、携帯型の電子黒板「Mimio」の新モデル、書画カメラやレスポンスシステム(学力検査システム)等のICT教育向けの新製品を発表します。幼稚園から、小学校、中学校、高等学校、及び大学にICTを活用した新しい授業スタイル「MimioClassroom」をご提案致します。

■ニューウェル・ラバーメイド社について (URL: <http://newellrubbermaid.com/>)

ニューウェル・ラバーメイド社は、1908年に設立し、1979年にニューヨーク証券取引所に上場した伝統があり、世界的に非常にブランド名の高いパーカー万年筆やウォーターマン万年筆等のオフィス製品を販売している会社です。

キーワードから記事を探す

最新 745 件

| 全て | ニュース | 企業発表 | 特集 |

Clippings

Date of Issue	2011/3/5
Media	Kyoiku Katei Shimbun
Category	Educational Newspaper
Headline	Next Generation of Information and Communication Technology “Mimio Classroom”

Summary

Newell Rubbermaid Japan launch “Mimio Classroom”.

It lets plural machinery cooperate and offers interactive learning environment to the classroom

ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン株式会社（東京都）は、2月22日よりの携帯型電子黒板 Mimio Classroom の新製品「Mimio Classroom」システムを販売開始した。これまでは個別に開発されてきた ICT 機器を融合的に連携させ、よりインタラクティブな教師と生徒・児童の学習環境を改善する。

電子黒板 Mimio Teach
同システムの基本となる「Mimio Teach」は黒板やホワイトボードに取り付けることで、インタラクティブな電子黒板にすることができ、最大縦横1.5m×2mまで拡大でき、USBが電池による稼動する。備品となるハブをPCのUSBに装着するだけで、ワイヤレスでPCと接続する。スリムで軽量のワイヤレスタブレット「Mimio Pad」は、最大9m離れた場所からも操作できる。学力検査システム「Mimio iVote」は、教師が児童・生徒の理解度を確認するシステムだ。手元にあるスイッチを使って解答する、即座に採点される。インク・レコーディング

次世代 ICT 教育ソリューション
電子黒板 書画カメラ 学力検査システム 記録システム ワイヤレスタブレット

「Mimio View」は、オートフォーカス、編集・保存機能を使い、やすい機能を提供し、LED照明にも暗室での作業もできる。これら6つのシステムを統合するソフトウェア「Mimio Studio」が「Mimio Flash」イルや音声・映像ファイルを備えており、各種ソフトウェアアプリケーショとの互換性もある。

コミュニケーションと研修を充実する
同システム研究開発責任者のマヌエル・ペレス氏は「各機器を一つのプラットフォームに統合することで、最高に使いやすい教育現場の土台を構築する」と話す。

現行用意されているのは3段階に分かれたトレーニング方法だ。第1はネットからダウンロードしたコンテンツを使った自己学習、第2はロケイ現在欧米・アジア太平洋地域を中心に世界60カ

料で直接使い方を学ぶ方向学習システム、第3は「トレーナーの学校派遣」で見せる。生まれた時からテクノロジー環境に慣れ親しみ、すぐに新機能への対応できる柔軟性をもつ子どもたちの前で、新たな ICT 機器を導入することに臆しがちな教師が多いのも現実的な事実であると認めつつ、ペレス氏は「段階的研修制度とコミュニケーションの活用を推進していきたい」と話す。

現在用意されているのは3段階に分かれたトレーニング方法だ。第1はネットからダウンロードしたコンテンツを使った自己学習、第2はロケイ現在欧米・アジア太平洋地域を中心に世界60カ

国以上で事業展開する Mimio は、アジア地域ではインド、シンガポール、中国、オーストラリア、ニュージーランドなど経済発展の著しい新興国の浸透率が高い。事業責任者ローレンス・ハント氏は「競合他社の製品を同時に扱う代理店ではなく、Mimio の製品を専門的に扱う再販売業者を日本中で幅広く発掘し、ある程度自由裁量で販売していただくことを計画した。今年7月7日から東京ビッグサイトで開催される『第2回教育ITソリューションEXPO』にも参加予定。参照 <http://www.mimio.com/ja>」と話す。

Date of Issue	2011/3/5
Media	Kyoiku Katei Shimbun (Online)
Category	Online (Education)
Headline	Next Generation of Information and Communication Technology “Mimio Classroom”

Summary

Newell Rubbermaid Japan launch “Mimio Classroom”.

It lets plural machinery cooperate and offers interactive learning environment to the classroom

次世代ICT教育ソリューション

「Mimio Classroom」販売開始

ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン株式会社(東京都)は、2月22日より携帯型電子黒板Mimioブランドの新製品「Mimio Classroom」システムを販売開始した。これまでは個別に開発されてきたICT機器を融合的に連携させ、よりインタラクティブな教師と生徒・児童の学習環境を改善する。

「電子黒板」「書画カメラ」「学力検査システム」「記録システム」「ワイヤレスタブレット」

電子黒板 MimioTeach

同システムの基本となる「MimioTeach」は黒板やホワイトボードに取り付けることでインタラクティブな電子黒板にすることができるもの。スクリーンサイズは最大縦横1.5m×2mまで拡大でき、USBが電池により稼動する。備品となるハブをPCのUSBに装着するだけでワイヤレスでPCと連結する。

スリムで軽量のワイヤレスタブレット「MimioPad」は、最大9m離れた場所からも操作できる。

学力検査システム「MimioVote」は、教師が児童・生徒の理解度を確認するシステムだ。手元にあるスイッチを使って解答すると、即座に採点される。

インク・レコーディングシステム「MimioCapture」は、専用ペンを使うことでホワイトボードに記載したメモや図をその場でPCに表示することができる。Windows、Mac、Linuxに対応。

書画カメラ MimioView

1600×1200の解像度をもつ書画カメラ「MimioView」は、オートフォーカス、編集・保存機能など使いやすい機能を備え、LED照明により暗室での作業もできる。

これら6つのシステムを統合するソフトウェアが「MimioStudio」。Flashファイルや音声・映像ファイルを備えており、各種ソフトウェアアプリケーションとの互換性もある。

コミュニティと研修を充実する

同システム研究開発責任者のマヌエル・ベレス氏は「各機器を1つのプラットフォームに統合することで、最高に使いやすい教育現場の土台を実現した。より興味を引く、分かりやすい授業展開ができるシステム」と自信を見せる。生まれた時からテクノロジー環境に慣れ親しみ、すぐに新機種への対応できる柔軟性をもつ子どもたちの前で、新たなICT機器を導入することに臆しがちな教師が多いのも国際的な事実であると認めつつ、ベレス氏は「段階的研修制度とコミュニティの活用を推進していきたい」と話す。

現在用意されているのは3段階に分かれたトレーニング方法だ。第1はネットからダウンロードしたコンテンツを使った自己学習、第2はログインしてオンライン上で無料で直接使い方を習う双方向学習システム、第3はトレーナーの学校派遣。現在は第2段階までが英語で提供されている。

欧米を中心に同システムを使用する教員たちのコミュニティサイト「MimioConnect」(<http://www.mimioconnect.com/ja>)には約6千人が参加しており、教員同士が授業の仕方や質問、問題点などを自由に共有しあう場として機能している。基本言語は英語だが、日本語では翻訳されたものに限り閲覧することができる。今後、日本語専用のコミュニティを立ち上げる計画だ。

現在欧米・アジア太平洋地域を中心に世界60カ国以上で事業展開するMimioは、アジア地域では特にインド、シンガポール、中国、オーストラリア、ニュージーランドなど経済発展の著しい新興国での浸透率は高い。

事業責任者ローレンス・ハントレー氏は「競合他社の製品を同時に扱う代理店ではなく、Mimio製品を専門的に扱う再販業者を日本で幅広く発掘し、ある程度自由裁量で販売していただくことを計画 중이다。今年7月7日から東京ビックサイトで開催される『第2回教育ITソリューションEXPO』にも参加予定。

参照 = <http://www.mimio.dymo.com/ja-AP.aspx>



▲マヌエル・ベレス氏



▲ローレンス・ハントレー氏

[2011年3月5日号]


教育家庭新聞
AKS Web Access